

企画展 加茂克也 KAMO HEAD

彫刻のような「ヘッドピース」

加茂克也の独創性に迫る



Courtesy of CHANEL,  
Photo by Yasutomo Ebisu

展覧会名	加茂克也 KAMO HEAD
会期	2024年6月30日(日)－9月23日(月・祝)
休館日	月曜日(ただし7月1日、15日、8月5日、12日、9月2日、16日、23日は開館)、 7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)
会場	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階展示室C、1階エントランス

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 / 公益財団法人ミモカ美術振興財団  
担当キュレーター：古野華奈子 広報担当：佐伯美帆、島田里都子  
〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1  
TEL 0877-24-7755 FAX 0877-24-7766  
E-MAIL [press@mimoca.jp](mailto:press@mimoca.jp) URL [www.mimoca.org](http://www.mimoca.org)

## —— 開催趣旨

世界の名だたるファッションブランドと多数のコラボレーションを行い、モードの最先端で活躍したヘア&メイクアップアーティスト、加茂克也(1965-2020)の活動を紹介します。加茂はトップブランドのショーや、ファッション誌の写真のヘアメイクを手がけるなど、国内外のファッションシーンで活躍しました。モデルの顔を覆い隠したり、紙で作った鋸やバラ、砕いた鏡、大量の鳥の羽といった表現など、前衛的でありながら、気品と造形美をあわせ持つ加茂のヘアメイクデザインは、発表のたびに注目を集めました。なかでも加茂の手によるヘッドピースは、彫刻のような普遍的な美を有し、ファッションでありつつ唯一無二のアートピースとして強い存在感を放ちます。

本展では、トップブランドのファッションショーで実際に使用されたヘッドピースを中心に、雑誌記事、アイデアソースや制作過程の記録、プライベートで制作していた立体作品などによって、加茂の創作活動を俯瞰的に展覧します。加茂にとって初めての美術館での個展となります。



Courtesy of JUNYA WATANABE, Photo by Yasutomo Ebisu

## —— 出品作家プロフィール

### 加茂克也(かもかつや)

1965年福岡県生まれ。1988年mod's hairに所属し、ファッション誌や広告、ファッションショーなど国内外で活躍する。2003年第21回毎日ファッション大賞を受賞、1983年の賞創設以来、初めてファッションデザイナー以外での受賞となる。2015年個人事務所「KAMO HEAD」を立ち上げ独立。2020年逝去。2021年作品集『KAMO HEAD』出版。

主なコレクション：JUNYA WATANABE、UNDERCOVER、CHANEL、MINTDESIGNS、ANREALAGE など。

主な展覧会：「加茂克也展 '100 HEADPIECES」(個展/ラフォーレミュージアム原宿、2013年)、「VANISHING ACT 2018 Made head for Haider Ackermann」(グループ展/ Villa Noailles(仏)、2018年)、「KAMO HEAD 加茂克也展 KATSUYA KAMO WORKS 1996-2020」(個展/表参道ヒルズ、2023年) など。



加茂克也

## 見どころ

### ファッションショーのヘッドピースが200点

トップブランドのファッションショーで使用されるヘッドピースは基本的に一回性のもので、一般に見る機会はほとんどありません。本展は、モデルがショーで身につけた加茂のヘッドピース約200点を実見できる貴重な機会です。

### 膨大な写真記事の紹介

加茂がヘアメイクを手がけたファッション誌の写真記事を多数展示します。なかには『VOGUE PARIS』や『VOGUE ITALIA』といった著名な海外誌も含まれます。加茂のヘアメイクの真髄を多数の美しいファッション写真に見ることが出来ます。



Courtesy of UNDERCOVER,  
Photo by Yasutomo Ebisu

### 立体作品のインスタレーション

プライベートで加茂が制作した箱状の立体作品約200点を、エントランスの吹き抜けの壁一面に展示します。加茂の創作の原点とも言える、美意識や即興性が詰まったこれらの作品が一堂に会する様は圧巻です。



「KAMO HEAD 加茂克也展」(表参道ヒルズ, 2023年)での  
立体作品展示風景  
撮影：篠田英美、提供：森ビル株式会社

## トピックス

### MIMOCAのファッション展、第3弾!

当美術館の設立に寄与した画家・猪熊弦一郎は「人々の生活に美を提供したい」という思いから、当美術館において、生活と密接な関係にあるファッションやデザインの領域からも、優れた作品や活動を紹介するよう希望していました。ファッションの第一線で唯一無二と評された加茂克也の創作活動は、「未来に向かってアーティストがどういうふうに向き、今にないものを発見していくかっていう、一番大事で一番難しいことの結果を見せる美術館であってほしい」という猪熊弦一郎の言葉に相応しく、本展を、「イサム・ノグチと三宅一生 ARIZONA」(1997)、「拡張するファッション」(2014)に続くMIMOCAで3度目のファッション展として開催いたします。

### ヘア&メイク関係の皆さまのために! 毎月第1月曜日は特別開館

香川県内の美容室や理容室の多くは、月曜日が定休日、当美術館も基本的に月曜日が休館日です。ヘア&メイクアップアーティストである加茂克也の活動を美容室や理容室に勤める方々にご覧いただくため、本展会期中は、毎月第1月曜日(7月1日、8月5日、9月2日)を特別開館いたします。

### 充実したプログラム

ファッションショーやトーク、ワークショップなど会期を通してお楽しみいただけます。

## 展示構成

本展でご紹介する内容や出品作品の一例です。  
※展示構成や出品作品は変更する場合があります。



Courtesy of MINTDESIGNS,  
Photo by Yasutomo Ebisu

### ヘッドピース

加茂克也は1990年代後半より数々のトップブランドのコレクションでヘアメイクを歴任しました。通常、ショーで使用するヘッドピースは一回性のもので、加茂はショーの後、自作のヘッドピースを手元に集めて1点ずつ撮影し、225点を選んで作品集『KAMO HEAD』(2021年発行)にまとめ、発表しました。本展では、『KAMO HEAD』に掲載されたものを中心に、約200点のヘッドピースを展示します。

### 雑誌記事

加茂は国内外のファッション誌や広告において、撮影現場でのヘアメイクも多数手がけています。加茂の名前がクレジットされた写真記事は大量にあります。特に気に入っていた作品を自身でポートフォリオにまとめていました。本展では加茂のポートフォリオ内の記事を中心に、雑誌や広告でのヘアメイクの仕事を紹介し、あわせて、加茂自身を紹介する雑誌記事や、加茂がヘアメイクを担当したファッションショーを紹介する海外の新聞記事も展示し、その仕事を概観します。

### 立体作品

プライベートで加茂が作り続けていた立体作品約200点をご紹介します。木箱の中に、昆虫や植物、卵の殻、雑貨といった身近なものを配置したこれらの作品には、加茂の美意識やシュルレアリスム的な表現への傾倒が感じられます。同時に、優れた造形を瞬時に生み出すセンスと創作技術の高さも見取れます。

### アイデアソース

加茂は日常的に、雑誌等の印刷物から気になるイメージを切り抜き、スクラップブックにコラージュしていましたが、その数は50冊を超えます。また、創作の過程とマテリアルを記録したポラロイドブックも複数残っています。加茂の創作活動のアイデアソースとも言えるこれらの資料もご紹介します。

## 開催概要

展覧会名	加茂克也 KAMO HEAD
主催	丸亀市猪熊弦一郎現代美術館、公益財団法人ミモカ美術振興財団
助成	一般財団法人自治総合センター
会場構成	株式会社金子繁孝事務所
ヘッドピース監修	小田代裕(mod's hair)
特別協力	mod's hair
協力	ANREALAGE、CHANEL、HAIDER ACKERMANN、JUNYA WATANABE、KIKO KOSTADINOV、MINTDESIGNS、UNDERCOVER
会期	2024年6月30日(日)–9月23日(月・祝)
開館時間	10:00–18:00(入館17:30まで)
休館日	月曜日(ただし7月1日、15日、8月5日、12日、9月2日、16日、23日は開館)、7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)
観覧料	一般：950円(760円) 大学生：650円(520円) 高校生以下または18歳未満・丸亀市在住の65歳以上・各種障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料 *同時開催常設展「猪熊弦一郎展 人や動物や物々」観覧料を含む *( )内は前売り及び20名以上の団体料金

### 同時開催

常設展「猪熊弦一郎展 人や動物や物々」

【観覧料】一般：300円(240円)、大学生：200円(160円)

\*企画展の観覧料は別途

### 前売券情報

楽天チケット <https://leisure.tstar.jp/event/rlikggm/>

【販売場所(丸亀)】

あーとらんどギャラリー：0877-24-0927

オークラホテル丸亀：0877-23-2222

おみやげ SHOP ミュー：0877-22-2400

## — 関連プログラム

### オープニング・イベント「ANREALAGE ファッションショー」

加茂克也が長年ヘッドピースを手がけていた、ANREALAGEによるファッションショーを特別に開催いたします。ショーの後は、ANREALAGEデザイナーの森永邦彦、本展会場構成及びショーの演出を担当した金子繁孝、作品集『KAMO HEAD』のブックデザインを担当した黒田益朗によるアフタートークにて、加茂の業績を語り合います。

日時：2024年6月30日(日) 開場 18:40 開演 19:00

\*ファッションショーはおよそ10分間です。

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2階大階段、ミュージアムホール

料金：2,000円、ミモカフレンド会員1,500円(チケット発売日および購入方法は当館HPでお知らせします)

定員：100名(全席自由)

アフタートーク出演：森永邦彦 (ANREALAGE デザイナー)、金子繁孝 (演出家)、黒田益朗 (グラフィックデザイナー)



Courtesy of ANREALAGE,  
Photo by Yasutomo Ebisu

### キュレーター・トーク

本展担当キュレーター(古野華奈子)が展示室で来館者に見どころをお話します。

日時：2024年7月7日(日)、8月4日(日)、9月1日(日) 各日 14:00-

参加料：無料(別途本展観覧券が必要)、申込不要

### ワークショップ「今日の私のヘッドピース」

紙や毛糸、針金、段ボールなど身近な材料を使って、当日の服装に合わせた自分だけのヘッドピースを作ります。

日時：2024年7月20日(土)、21日(日) 各日 10:30-12:30/14:00-16:00

会場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 2階造形スタジオ

対象：小学生～大人

参加料：無料

定員：各回25名(要申込、応募者多数の場合は抽選)

申込〆切：7月10日(水)まで(申し込み方法は当館HPでお知らせします)

### 親子でMIMOCAの日

高校生または18歳未満の観覧者1名につき、同伴者2名まで観覧無料となります。

日時：2024年8月24日(土)、25日(日) 10:00-18:00(入館は17:30まで)

\*その他のプログラムは決まり次第、当館WEBサイトなどでお知らせいたします。

## — プレスレビュー

本展開催に先立ち、6月29日(土)にプレスレビューを実施いたします。ぜひ取材賜りますようよろしくお願いいたします。

時間	内容
13:45	開場 受付(1階エントランスからお入りください)
14:00-14:05	担当キュレーターによる挨拶、関係者の紹介
14:05-14:40	キュレーター・トーク(作品解説)
14:40-14:45	質疑応答
14:45-15:00	撮影、自由観覧

## — プレスレビューのお申し込みについて

お申し込み情報	<ol style="list-style-type: none"><li>1. 参加者氏名(人数分)</li><li>2. ご所属名</li><li>3. お電話番号</li><li>4. 個別取材ご希望の有無</li></ol>
お申し込み方法	上記内容を記入の上、 <b>6月22日までにpress@mimoca.jp宛へメール</b> をお送りください。 受付後、詳細を担当者からお返事いたします。

### 一般内覧会およびレセプション

同日に、招待状をお送りした方への一般内覧会およびレセプションを開催します。

プレス関係者の皆さまもよろしければご参加ください。参加の場合は上記お申し込みの際にご連絡ください。

日 時：2024年6月29日(土) 15:30-18:00(一般内覧会)

16:00-17:30(レセプション)

会 場：丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 3階 展示室C(一般内覧会)

3階 カフェ MIMOCA(レセプション)

申込方法：ご参加の場合、**press@mimoca.jp**までご連絡ください。

## — 広報用画像

1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12



13



14



### クレジット

- 1-3      Courtesy of ANREALAGE, Photo by Yasutomo Ebisu  
4          Courtesy of CHANEL, Photo by Yasutomo Ebisu  
5-6      Courtesy of JUNYA WATANABE, Photo by Yasutomo Ebisu  
7-8      Courtesy of MINTDESIGNS, Photo by Yasutomo Ebisu  
9-13     Courtesy of UNDERCOVER, Photo by Yasutomo Ebisu  
14        加茂克也

画像のお申し込み  
フォーム

ご希望の方はお申し込み下さい。  
<https://www.mimoca.org/ja/press/>

